

学校教育の情報化に関する懇談会 配布資料

2010.4.22 丸善株式会社 小城武彦

1 丸善の紹介

□事業内容

- ① 教育・学術事業
 - ・高等教育機関・図書館への書籍・学術雑誌の提供
 - ・教育施設・図書館のデザイン・施工（「学習環境デザイン」）
 - ・教育・研究支援ITソリューションの提供
 - ・図書館の運営受諾
 - ・大学経営コンサルティング
- ② 小売事業：全国に書籍・文具販売店を展開
- ③ 出版事業：理工・医学書を出版
- ④ 店舗デザイン・内装事業

2 情報化の動向（隣接分野）

- ① 大学教育分野
 - ・教科書のデジタル化（米国）
 - 現状5%以下であるが、急速に拡大中。2012年には10～15%との予想。
 - 教師による編集機能、補助教材、学生の成績管理・課題管理機能などが付加されている。
 - ・電子書籍端末活用のトライアルが開始（米国：アマゾン・キンドルなど）
 - ・電子図書館（日本でも取組みが始まりつつある段階）
 - ・ITを活用した学習環境デザイン：Active Learning（東京大学、米国 MIT）
成績優秀者をより伸ばす効用
- ② 一般書籍分野
 - ・米国：電子書籍端末＋一般書籍、日本：携帯端末＋コミック
 - ・アマゾン、アップルなどの日本市場参入間近。一般書籍のデジタル化が大きく進展する見込み。
 - ・国内出版社 31 社が、日本電子書籍出版社協会を 3 月に設立し、一般書籍のデジタル化の準備を開始。

3 論点

- ① アナログとデジタルのそれぞれの良さをハイブリッド化し、トータルでの効用を増大させる視点が重要。
- ② 単なる教材のデジタル化にとどまらず、学習環境全体をデザインする視点が重要（Active Learning、電子図書館など）。